



社会
福祉



Fukui Social Welfare



福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会の会員法人の役職員らが今年1月と3月、昨年の能登半島地震と豪雨で被災した輪島市を訪れ、福祉施設の利用者や仮設住宅の入居者の皆さんに足湯などを楽しんでもらうボランティア活動を行いました。(8ページに関連記事)

CONTENTS

2,3P 特集 アンケート調査からわかった若者のボランティア観！

3P 案内 ◆ ラジオ講座「ふむふむいっぱい ラジカフェ」
4月スタート

4P 案内 ◆ 令和7年度県社会福祉研修所 研修実施計画

5,6P 案内 ◆ 社会福祉関連民間助成事業の紹介

7P 報告 ◆ フクチャレ! 2024成果報告会開催
案内 ◆ 義務教育教員免許取得志願者介護等体験事業
学生受入れ事業所募集

8P 報告 ◆ 足湯でじんのび届けたい

9P 報告 ◆ 災害時の福祉支援活動強化を
目指して
広告 ◆ ボランティア活動保険

10P 報告 ◆ 寄付・寄贈
案内 ◆ 賛助会員募集のご案内
案内 ◆ 各種貸付事業のご案内



アンケート調査からわかった

若者のボランティア観！

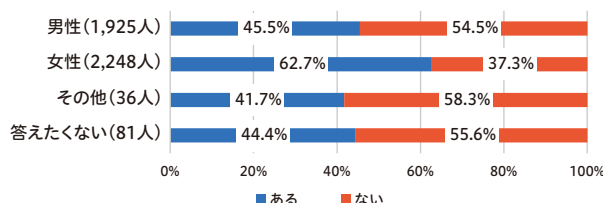
「若者のボランティア活動意識に関するアンケート」について

本県の若い世代を対象に、ボランティア活動に対する意識や意欲について把握し、ボランティア活動への参加促進を向上すること、また参加しやすい基盤づくりを行い、福井県ボランティアセンターが行う事業のすめ方や今後のボランティア振興の取り組みへつなげることを目的に本調査を実施しました。

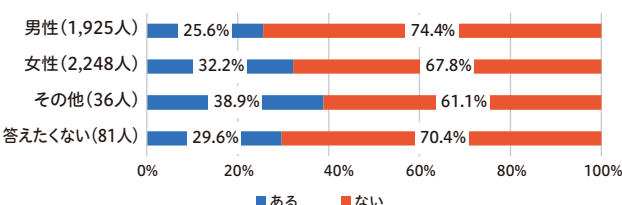
調査期間は、令和6年8月29日(木)～10月31日(木)の2か月間で、本県に在学・在勤の15～24歳の学生、社会人等の若者を対象に行いました。回答者数は全部で4,290名と、多くの方にご協力をいただきました。



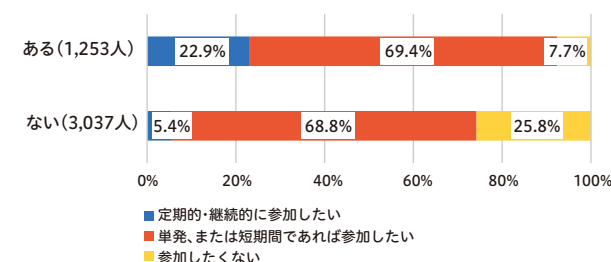
ボランティア活動に対する興味の有無



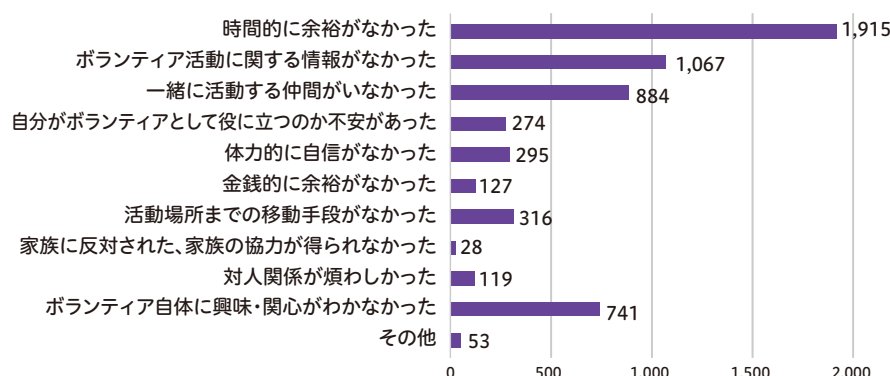
昨年度1年間のボランティア活動の経験の有無



過去の経験の有無と今後の参加意向のクロス集計



ボランティア活動の経験がない理由



● 若者のボランティア活動の本音！興味がないわけではないが、「活動していますか？」と聞かれると…？

● ボランティア活動に「興味ある」若者は全体で54.5%！

● その中でも特に女性が62.7%と高い！昨年度1年間(令和5年度)で活動経験がある若者は、全体的に少ない！

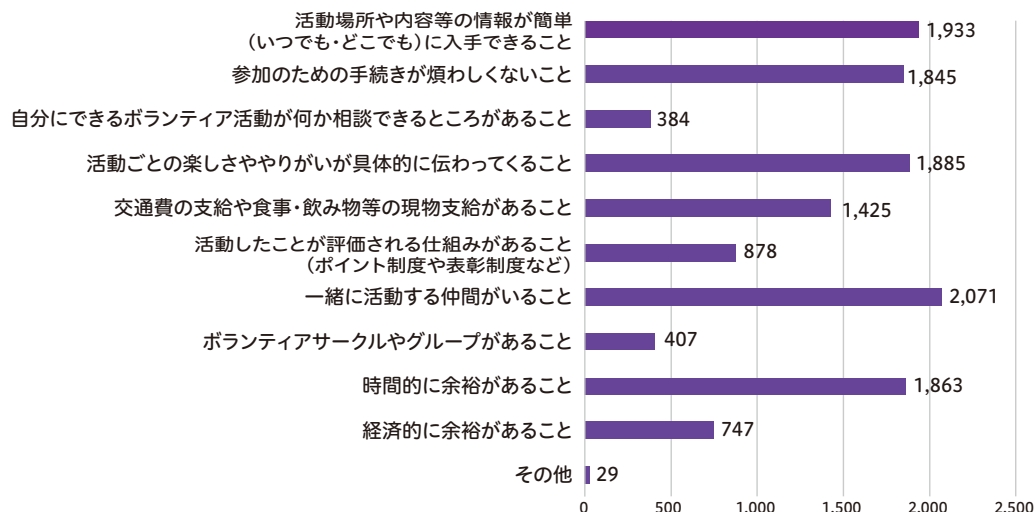
● 活動した人としなかった人で、次の活動に対するモチベーションが変わる！

● 活動経験がある若者は、始めた動機がどうであれ、「社会の役に立てた、やりがいがあった」と感じる方が多く、今後の参加意欲も高まる傾向にある。

● 活動しなかった理由には「時間的に余裕がなかった」ことをあげる若者が多い！

● 昨年度1年間(令和5年度)で、活動経験がない若者は回答者4,290名のうち、3,037名(70.8%)！さらに3,037名のうち、1,915名(63.1%)が「時間的に余裕がなかった」と回答している！

ボランティア活動への参加意欲を高めるために必要なこと



● 4,290名のうち、2,071名(48.3%)の若者が「一緒に活動する仲間がいること」と回答している！若者は一人で活動することに、抵抗を感じる方が多い！

教えて！若者は、どうすれば参加したくなる？

〈結論！〉若者の参加意欲が

高まる三大要素とは？！

その1 一緒に活動する仲間がいること！

その2 ボランティア活動に関する情報が入手しやすく、楽しさが伝わってくる！

その3 ボランティア活動への参加手続きが簡単・簡潔にできること！

今後、ボランティアセンターでは…

調査結果を踏まえて、本センターでは、以下3点のボランティア活動振興策を進めてまいります！

その1 若者のニーズに沿ったボランティア体験の機会を増やし、活動意欲を高める！

その2 若者による若者のための啓発イベントを、若者自身が企画・実施する！

その3 情報発信の拡大で、いつでも・どこでも、簡単に入手できるようにする！

また、さらに詳しいアンケート結果の内容や考察は本会ホームページに掲載しています。結果の全容を見ると、若者のボランティアに対する想いや志向を垣間見ることが出来ます！！

ぜひこちらの二次元コードからご覧いただき、みなさんの取り組みへの参考にしてください！



ラジオ番組

ふむふむ いっぱい ラジカフェ

4月6日から、ラジオ番組「ふむふむいっぱい ラジカフェ」がスタートします。

「ふむふむいっぱい ラジカフェ」には、毎回その道のプロが来店します。

一杯のコーヒーを楽しむ時間に、「ふむふむ」となる話をいっぱいしていただきます。

放送日時は、毎週日曜日の午前7時30分から8時まで、

再放送は、毎週土曜日の午後5時15分から5時45分までです。

「ふむふむいっぱい ラジカフェ」にご登録いただくと、プレゼントを受け取ることができます。

登録は無料です。ご家族、ご友人とぜひご登録ください。

詳しくは、福井県社会福祉協議会ホームページをご覧ください。
電話 0776-24-2433までお問い合わせください。

令和7年度

福井県社会福祉研修所 研修実施計画

福祉職場の環境改善、職員の資質向上につながる研修を実施します。皆様の受講をお待ちしております。

(1) 福祉職員専門課題別研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開催場所等
①	新 ハラスメント(困難事例対応)研修	1日間×1コース	6～8月	福井
②	職員のほめ方・叱り方研修	1日間×1コース	6～8月	福井
③	接遇研修(新社会人・中堅者)	1日間×各1コース	6～9月	福井
④	伝わる記録の書き方研修(高齢者障がい者施設・児童施設)	1日間×各1コース	6～12月	福井
⑤	高齢者・障がい者虐待防止研修	1日間×2コース	6～7月 10～11月	福井 丹南

(2) 福祉職員業種・職種別研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開催場所等
①	主任保育士・主幹保育教諭研修(保護者支援・子育て支援研修)	3日間	6～8月	福井
	主任保育士・主幹保育教諭研修(マネジメント研修)	3日間	11～R8.1月	福井
②	栄養士・調理師研修	1日間	9～12月	福井
③	老人・障がい者福祉施設看護職員研修	2日間×1コース	9～12月	福井
④	看護職員研修(全種別)	1日間×1コース	9～12月	福井
⑤	メンタルヘルス研修(一般職員、管理職)	半日間×各1コース	6～9月	福井

(3) 介護支援専門員養成研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開催場所等
①	介護支援専門員専門・更新研修(経験者)課程I	14日間×2コース	5～7月 9～11月	オンライン
②	介護支援専門員専門・更新研修(経験者)課程II	9日間×3コース	6～8月 8～10月 11～R8.2月	オンライン
③	介護支援専門員実務研修	19日間×1コース	12～R8.3月	オンライン
④	介護支援専門員再研修・更新研修(未経験者)	14日間×2コース	6～9月 12～R8.3月	オンライン

(4) 認知症介護実践者研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開催場所等
①	認知症介護実践者研修	26日間×2コース	5～9月 11月～R8.2月	オンライン
②	認知症対応型サービス事業管理者研修(開設前受講義務付け)	3日間×2コース	5～8月 11～12月	オンライン ※一部福井
③	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修(開設前受講義務付け)	2日間×2コース	7～8月 R8.1～2月	オンライン ※一部福井
④	認知症対応型サービス事業開設者研修(開設前受講義務付け)	3日間×2コース	5～8月 11～12月	オンライン
⑤	認知症介護実践リーダー研修	28日間×1コース	8～11月	オンライン

(5) 保育士等キャリアアップ研修事業

研 修 名			開 催 時 期	開催場所等	
①	専門分野別研修	乳児保育	各3日間×1コース	6～12月	オンライン ※一部福井
②		幼児教育			
③		障がい児保育			
④		食育・アレルギー対応			
⑤		保健衛生・安全対策			
⑥		保護者支援・子育て支援			
⑦	マネジメント研修		各3日間×1コース	6～12月	オンライン
⑧	保育実践研修				福井

(6) キャリアパス対応福祉職員生涯研修・定着支援研修事業

	研 修 名		開 催 時 期	開催場所等
①	初任者研修	3日間×1コース	6～7月	福井
②	中堅職員研修	3日間×1コース	9～10月	福井
③	チームリーダー研修	2日間×1コース	7～8月	福井
④	管理職員研修	2日間×1コース	10～11月	福井
⑤	就職内定者応援セミナー	半日間×1コース	R8.3月	福井



研修の詳細内容は、本会ホームページでご確認ください。

開催2か月前にはホームページに掲載するほか、「研修受講サポートシステム」よりメールにてご案内いたします。

学生の視点で、福祉の魅力を発信

フクチャレ！2024成果報告会開催

福井県立大学の学生が、福祉の現場取材し、魅力を発信するプロジェクト「フクチャレ」。その成果報告会を3月10日に県社会福祉センターで開催しました。

令和6年度は11名が、摂食障害のある人たちの自助グループゆっくり、不登校の子どもたちを支援している福インクル、重症心身障がい児者の福祉サービス事業所はあもにい永平寺の3ヶ所に、それぞれ分かれて約5カ月かけて、取材や体験活動を行い、イメージアップを図るポスターやチラシを作成しました。

成果報告会では、「重たい雰囲気イメージしていたが、実際に訪問してみ

ると明るくアットホームな空間だった」「はじめはどういう風に話しかけたらよいかとまどったが、みなさんリラックスした雰囲気、居心地の良い居場所だと感じた」など、最初のイメージとは変わったとの感想が多く聞かれました。

学生たちは、今回の活動を振り返り、「福祉に対して、暗いイメージを持つ方がいる中で、今回作成したポスターやチラシが、多くの方の目に触れ、明るいイメージが伝わればよいと思う」とまとめました。

受入れ団体からは、「若い学生の視点は新鮮で、体験活動では利用者にも私たちにもよい刺激となった。」「このように素敵なポスターを作成してもらい、大変うれしい」との声が聞かれました。



成果報告会を終えて

【協力団体】

自助グループゆっくり
一般社団法人 福インクル
特定非営利活動法人 はあもにい永平寺



義務教育教員免許取得志願者 介護等体験事業学生受入れ事業所募集



小・中学校教諭の普通免許状取得志願者には教育職員免許法の特例等に関する法律により社会福祉施設等における介護等体験（5日間）が義務化されています。

令和2～6年度は、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例として介護等体験の代替措置」がとられていましたが、令和7年度以降は従前どおり社会福祉施設等での介護等体験を実施することとなりました。

令和7年度は、約180名の学生が介護等体験を受ける見込みとなっています。

現在、学生の介護等体験を受入れていただける事業所を募集しています。（募集締め切りは4月15日です）

★受入れ事業所には、介護等体験費用として1名1日あたり1,100円をお支払いします。

事業詳細は、本会ホームページ「義務教育教員免許取得志願者に対する社会福祉施設等における介護等体験」でご確認ください。

福井県社協 義務教育免許志願者



【お問合せ先】福祉人材課 TEL.0776-28-3180

法人が連携した能登半島地震・豪雨災害被災地への支援活動

「足湯でじんのび（能登の方言で「のんびり」「気が休まる」）届けたい」

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に加え、同年9月の豪雨災害で大きな被害を受けた奥能登地域。二重の被災により生活再建の歩みは大きく後退し、復旧・復興に向けては、被災者の精神的なサポートも含め、ボランティアや外部支援者の力がまだまだ求められています。

そこで、県内の社会福祉法人が連携して「地域における公益的な取組」を推進している福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会（以下、「法人連携協」という）では、災害により被害を受けた福祉施設や職員、住民への支援活動として、会員法人の役職員等によるボランティア活動を実施しました。

1回目は、令和7年1月22日（水）に、石川県輪島市門前町の特別養護老人ホームゆきわりそうを訪問し、約60名の利用者に対して、足湯と福井の水ようかんを振舞いました。

当該施設は、令和6年能登半島地震で建物や設備に被害が発生。発災直後には断水が続く中、福祉避難所を開設し、およそ10人の避難者の受入れを行ったといいます。その後、職員が避難などを理由に相次いで離職。令和6年9月の豪雨災害でも浸水被害を受け、人手不足状態が解消されない中、特養

やデイサービスでのレクリエーションやイベント等、利用者に楽しみを提供する機会が減っていることが課題となっていました。

この日は、法人連携協の会員法人から17名が参加。早朝に福井を出発し、午前9時半にゆきわりそうに到着しました。道中、のと里山海道や能越自動車道では仮復旧の区間もあり、また、被災地に近づくにつれて、傾いた建物や屋根にブルーシートが張られたままの家屋が増えてくると、参加者の口数も少なくなり、緊張した様子がうかがえました。

しかし、その緊張もゆきわりそうの職員の皆さんが笑顔で出迎えてくれたことで一気に解けました。足湯の道具を持ち込み、準備を始めると、早速施設の利用者の方が職員を連れ立って



ゆきわりそうで足湯活動の様子

次々に集まり、足湯と水ようかんの振舞いを受けながら、会話を楽しんでいます。活動後



ゆきわりそうの職員と一緒に

の振り返り場面では、「数少ないレクリエーションの機会をいただけて、大変ありがたかった」「いつもよりも利用者の表情が豊かで、震災から

共に過ごしてきた利用者の笑顔が見られたことが一番の喜び」と、今回の支援に感謝の言葉が聞かれました。

その一方で「震災から1年が経っても復興はまだまだ進んでいない。被災地のことを忘れないでいてくれることがうれしい」と話す職員もおり、引き続き支援が必要なこと、被災地に気持ちの面で寄り添うことが大切であると、あらためて感じさせられる機会となりました。

2回目となる3月16日（日）は、輪島市稲屋町の仮設住宅団地を訪問し、足湯ボランティア活動を行いました。

この仮設住宅団地では、完成直後の令和6年9月、豪雨で近くを流れる川から土砂などが流れ込み、冠水や床下浸水の被害が出ました。住民同士の交

流機会を提供するとともに足湯でリラクセスしてもらいながら、生活での心配ごとや健康面での不安などのつぶやきを拾い、地元支援団体につなぐことを目的としました。

この日は、会員法人から26名が参加し、集会所に足湯コーナーとお茶とお菓子でくつろいでいただくサロンコーナーを設けました。仮設住宅の住民約30名が訪れ、足湯と会話を楽しまつ中で、震災によって一変した生活の不由さや将来の不安を吐露する方もおり、ボランティアが一緒に涙する場面もありました。

法人連携協では、今後も災害時の支援活動を社会福祉法人の地域貢献として取り組んでいくこととしていきます。



仮設住宅団地での足湯活動



災害時の福祉支援活動強化を目指して 能登半島地震における社協の福祉支援活動を振り返る



李氏による総括講義の様子

本研修は、今回の災害において応援派遣職員が目の当たりにした被災地の状況や支援の場面の気づきを振り返り、社協ネットワーク

令和7年2月17日(月)～18日(火)、福井県中小企業産業大学校において「令和6年度市町村協災害時福祉支援活動強化研修」を開催し、県内社協職員約35名が参加しました。

「令和6年能登半島地震」および「奥能登豪雨災害」においては、令和6年1月から11月までの期間、延べ759名(実人数では104名)の県内社協職員が、被災地の社協支援のために派遣されました。高齢化と過疎という地域基盤が弱い弱な奥能登地域で交通網やインフラが大きな被害を受けた被災地の社協では、これまでのように「災害ボランティアセンター」を初動から稼働するのではなく、「災害福祉支援活動」としての機能をどう発揮するかが課題となりました。



講師からのアドバイス風景

福祉支援に集約していくか考えることをねらいとしました。

1日目は、県社協からの基調報告の後、応援派遣職員による振り返りを基に、被災者ニーズと支援における課題の整理を行いました。2日目は、それらの課題を掘り下げ、個人レベル・組織レベル・地域レベルでの要因分析と対策の検討を行いました。最後に、講師を務めていただいた(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄氏と合同会社HUGKUMIの長井一浩氏・小島寛氏に助言をいただきました。

今回の支援の振り返りから学んだことや共通する自社協の課題を、いかに組織内で共有・改善していけるかが被災地となった際の社協の底力(受援力)につながる重要なテーマになっています。

クによる継続性のある支援と災害ボランティアや技術系NPO、さまざまな専門職による多面的な支援をどのように災害

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 保険金		
	入院中の手術	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
賠償責任	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に
心から感謝申し上げます。

皆様の善意は有効に
活用させていただきます。

♥1月27日 **寄付者** 株式会社システム研究所様
●50万円(親睦会20万円、個人30万円)(写真①)

寄付先 福井県社会福祉協議会(子ども未来応援バンク)

♥2月7日 **寄付者** 今村証券株式会社様
●159万7347円(写真②)

寄付先 福井県社会福祉協議会(子ども未来応援バンク)

♥2月19日 **寄贈者** 一般社団法人生命保険協会福井県協会様
●福祉巡回車2台 ●車いす5台 (写真③)

寄贈先 〈福祉巡回車〉

坂井市社会福祉協議会、おおい町社会福祉協議会

〈車いす〉

足羽利生苑デイサービスセンター、
ヴィルヌーブあさくらデイサービスセンター、一乗ハイツデイサービスセンター、
南越前町社会福祉協議会河野デイサービスセンター、デイサービスセンター五湖の郷



賛助会員を募集しています

福井県社協の事業活動費は、会費や県民の皆様からのご芳志、国や県等の補助金などを財源にしていますが、特に会費については、民間団体として活動の推進を図るためには欠かすことのできないものです。

本会の活動の趣旨をご理解いただき、賛助会員としてご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
会費は年間1口5,000円です。入会のご希望の方は、下記までお問合せください。

【お申込み・お問合せ先】 総務企画課 総務グループ TEL.0776-24-2339



令和7年度 各種貸付事業のご案内

保育士・介護福祉士をめざす方や再就職する方、
初めて介護・障害福祉分野の仕事に就く方、ひとり親家庭、
児童養護施設や里親等から自立する方への貸付制度のご案内です。

いずれも一定の要件(資格取得、対象業務への従事等)を満たせば、貸付金の返済を免除します。



✓ 専門学校・短大・大学で資格を取る方に…
**介護福祉士・社会福祉士・
保育士修学資金**

✓ 介護の仕事をしながら資格取得を目指す方に…
介護福祉士実務者研修受講資金

✓ もう一度、介護・保育の仕事にチャレンジする方に…
**離職介護人材再就職準備金、
保育士就職準備金**

✓ 初めて介護や障害福祉のお仕事に就いた方に…
介護・障害福祉分野就職支援金

✓ 高等職業訓練促進給付金を活用し資格を目指す方に…
ひとり親家庭職業訓練資金

✓ 就業し自立に向けて意欲的に取り組むひとり親の方に…
ひとり親家庭住宅支援資金

✓ 児童養護施設や里親等から自立する方の
資格取得や生活費等の支援に…
児童養護施設入所者自立支援資金

4月1日から募集を開始します。

貸付要件や申請方法など、詳細は本会ホームページ上の募集要項等にてご確認ください。

【お問合せ先】 地域福祉課 ☎0776-24-4987

